



高級ライチから始まった みんなが笑顔になる町づくり

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構(略称:こゆ財団) (宮崎県児湯郡新富町)

ふるさと名品オブ・ザ・イヤーとは

内閣府、農林水産省、経済産業省後援のもと、民間企業などが独自の切り口による部門提供者として推進し、地域の名品とそれを支えるストーリーを応援する表彰制度。この制度においてリクルートジョブズは、「地方創生を担う働き手を確保するには、主婦やシニアなどの多様な方が働ける環境をつくる」ことが重要」との考えから、「主婦やシニアの方の活躍創出部門」を提供。2018年度にエントリーいただいた、地方創生に貢献する全国各地9事業者の人名・商品取り組みについてご紹介します。

▲新富町の農家・森哲也さんが試行錯誤の末に生み出した「新富ライチ」。その大きさ、みずみずしいおいしさと爽やかな香りは強烈なインパクトがあり、1粒1000円の価値に納得する。メディアでの注目度も高く、1粒50グラム以上のものを集めたパッケージは、2018年の新富町ふるさと納税返礼品として予約完売するほどの人気ぶりとなった

▼商品開発などを担当する黒木さゆみさんは妊娠3カ月のときに入社した。「妊娠中も子育て中の今も、周囲の方に支えていただいています」



一般財団法人こゆ地域づくり推進機構
(略称:こゆ財団)
宮崎県児湯郡新富町富田東2-1-1 チャレンジフィールド
TEL 0983-32-1082
<事業内容>
『特産品販売』『起業家育成』による地域経済の創出
<http://lychee.link>
<http://koyu.shop/>

子どもたちに、楽しんで働く親の姿を見せていく

「新富ライチ」が多方面で注目されると、「世界」チャレンジしやすいまち」をビジョンに掲げるこゆ財団の活動に感銘を受けた移住者が増加。もちろん同財団には地元の人材も多く、働くママも多数。特別な育児支援制度はありませんが、やりがいと夢を持ち、自然に助け合うことで誰もが無理なく仕事を楽しんでいます。また、農家を回る仕事に子どもを連れていくなど、仕事とプライベートの垣根が低いことも特徴。親がワクワクして働く姿を見せる新発想の「働き方改革」で、未来を担う子どもたちに町の魅力を伝えていきます。

行政にはないスピード感で強い地域経済をつくる

こゆ財団は、農業や畜産を基幹産業とする宮崎県児湯郡新富町の地域商社。行政にはないスピード感で「特産品販売」起業家育成」を行い、強い地域経済の創出に取り組んでいます。中でも、地元の農家と協働でブランド化した1粒1000円の「新富ライチ」は、2017年の登場以来、抜群の甘さ、みずみずしさ、香りのよさで注目の的。さらに同財団は国産ライチの市場拡大はもちろんのこと、後継者育成や事業承継にも取り組んでいます。また、ライチをきっかけに地域資源や人の魅力に惹かれ、多様な形で地域とかわる人が増えるなど、新富町の関係人口創出にも寄与しています。



▲齋藤潤一さん。アメリカのIT企業でブランディング・マーケティングに携り帰国。東日本大震災を機に地域経済活性化を目的にNPO法人設立。2017年4月、こゆ財団設立と同時に代表理事に就任。同財団は2018年11月、内閣官房「まち・ひと・しごと創生本部」より地方創生の優良事例に選出された

リクルートジョブズのサイトにて詳細をご紹介します。 <https://www.recruitjobs.co.jp/furusato/>

